

九条の会・兵庫県医師の会 市民企画

三上智恵さんご略歴

ジャーナリスト、映画監督。琉球朝日放送でドキュメンタリー番組を制作、初の劇場映画『標的の村』（2013年）は多くの映画賞を受賞。14年にフリー転身。15年5月に『戦場ぬしみ（いくさばめとどろみ）』、17年3月に『標的の島 風（かじ）かたか』を劇場公開。著書に『戦場ぬしみ 辺野古・高江からの祈り』（大月書店）、『風かたか『標的の島』撮影記』（大月書店）など。

沖縄 スパイ 戦史



上映&三上智恵監督トーク

沖縄戦の知られざる真実に迫ったドキュメンタリー『沖縄スパイ戦史』を上映し、自衛隊を憲法に明記する改憲発議を狙う安倍政権の危険性について、三上智恵監督にお話いただきます。

2019年 **2月17日**  **13:30~16:30**

開場13:00 上映13:30~ 講演15:30~

兵庫県農業会館11階大ホール

『沖縄スパイ戦史』解説

「標的の村」「標的の島 風かたか」など沖縄基地問題を題材にした作品を手がけてきた三上智恵氏とジャーナリスト大矢英代氏が、沖縄戦の知られざる真実に迫ったドキュメンタリー。第2次世界大戦末期、連合国軍の上陸により、民間人を含む24万人余りが命を落とした沖縄戦。しかし、1945年6月23日の第32軍・牛島満司令官の自決後も沖縄北部ではゲリラ戦、スパイ戦が繰り広げられていた。その裏には、1944年夏に沖縄の地に渡り、身分を隠して沖縄の各地に潜伏していた工作員養成機関「陸軍中野学校」出身者42人の存在があった。

監督：三上智恵、大矢英代
プロデューサー：橋本佳子、木下繁貴
撮影：平田 守
編集：鈴尾啓太

監督補：比嘉真人
音楽：勝井祐二
協力：琉球新報社、沖縄タイムス社
製作協力：沖縄記録映画製作を応援する会

製作：DOCUMENTARY JAPAN、東風、三上智恵、大矢英代
配給：東風
2018/日本/DCP/114分/ドキュメンタリー

©2018「沖縄スパイ戦史」製作委員会

主催 九条の会・兵庫県医師の会

共催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会、核戦争を防止する兵庫県医師の会、九条の会・医療者の会(全国)